

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 2 組

使用教科書： （ 新 家庭総合 パートナーシップでつくる未来 実教出版 ）

教科 家庭 の目標： 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働しよりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。  
**【知識及び技能】** 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、加速・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につける。  
**【思考力、判断力、表現力等】** 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。  
**【学びに向かう力、人間性等】** 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標： 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働しよりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につける。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 これからの人生について考えてみよう 【知識及び技能】ライフステージごとの特徴や課題を理解する。【思考力・判断力・表現力等】自分の将来とこれからの社会について考えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。	1. 1年間の授業の進め方 2. これからの生き方をデザインさせること 3. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や人の一生について考えをまとめることができる。 【思考力・判断力・表現力等】人生のライフステージの特徴と課題について知り、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	12
第2章 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】結婚、家庭、家族の意義や機能について理解する。【思考力・判断力・表現力等】労働の種類、またその意義について多面的に検討できるようにする。【学びに向かう力、人間性等】労働を支える社会や地域をしくみを知ること、で、私たちがその一員であるという自覚を持つことができるようになる。	1. 社会の変化と家族の変化を学ばせること 2. 家族の現状と課題を理解させること 3. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】青年期の課題である自立や男女平等と相互の協力、生活にかかわる労働の意義、家庭の多様化など、時代と共に変化する役割について理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】図表などから家族の形や家庭のあり方や役割について変化した背景を読み取ることができ、考えを深め表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
第3章 子どもと関わる【知識及び技能】子どもの誕生や心身の発達、食生活や衣生活、遊びについて理解を深める。【思考力・判断力・表現力等】育児を学ぶ意義について考える。 【学びに向かう力、人間性等】親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	1. こどもを取り巻く地域と社会を課題理解させること 2. こどもの心身の発達と遊びの意義と役割を知らせること 3. 親になるということの意味を考えさせること 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】子どもの心身の発達や子どもの生活、接し方、子どもを取り巻く人のかかわりなどの知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】子供と触れ合う体験学習や実践活動について、事前事後のまとめをパワーポイントを通して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】子どもの生活について、積極的に子どものとのかかわりながら理解しようとする。	○	○	○	12
第4章 高齢者とかかわる 【知識及び技能】高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。【思考力・判断力・表現力等】高齢期の心身の変化による生活行動の不安に気づき、改善する。 【学びに向かう力、人間性等】高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも深める。	1. 高齢者の理解と高齢社会・高齢福祉を知らせること 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解し、日常生活の基本的な介助の方法を介助実習を通して身につけることができる。 【思考力・判断力・表現力等】高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】介助実習においては、積極的に参加し、高齢者の現状を把握しようとしている。	○	○	○	12
定期考査 ホームプロジェクト			○	○		2
第5章 社会とかかわる 【知識及び技能】個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。【思考力・判断力・表現力等】ボランティア活動に興味関心が持てるようになり、実際の活動につなげる。【学びに向かう力、人間性等】将来に向けた課題に気づく。	1. 社会保障の必要性や意義、日本の制度を理解させること 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】社会福祉や生涯を通しての社会保障制度の仕組みについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通して支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	12
第6章 食生活をつくる【知識及び技能】栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 【思考力・判断力・表現力等】衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。【学びに向かう力、人間性等】日本の食糧事情を解決するためにできることをみつける。	1. 栄養素の働きと食品の栄養を理解させること 2. 食品の安全性を理解させ、選択する力を養わせること 3. 調理実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】食事の意義や役割、栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に活かすことができる。 【思考力・判断力・表現力等】地域の食文化やそれが発展してきた背景について、情報収集を行い、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって知識を深めようとしている。	○	○	○	17

2 学期	定期考査			○	○		2
	第7章 衣生活をつくる 【知識及び技能】衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。【思考力・判断力・表現力】衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】日本の和服について理解する。	1. 衣服の素材や管理を理解させること 2. 衣服をめぐるトラブルと表示の見方を知らせること 3. 被服実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけたり、不要となった衣類について、リサイクルに回す、作り変えるなど、実生活において実践することができる。 【思考力・判断力・表現力等】作成した作品を自分らしく表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】衣服実習において、製作活動に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	17
	第8章 住生活をつくる 【知識及び技能】日本の住まいの選りや生活様式などを理解する。【思考力・判断力・表現力】住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】町の課題について自分なりに解決策を考えることができる。	1. 住まい、住環境の意味を理解させ、ライフスタイルに対応した間取りを考えさせること 2. 住まいの安全や安心について知らせること 3. 平面図実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】日本の住まいや歴史、住まい方、家族構成やライフステージなどのかかりから、平面図を読み取ることができる。 【思考力・判断力・表現力等】住まいの管理方法について、適切な掃除や頻度を考え、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】住まいの文化や機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくりに向けて意欲的にとりくもうとする。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
3 学期	第9章 消費行動を考える 【知識及び技能】契約や多様な販売方法や支払い方法、問題商法について理解する。【思考力・判断力・表現力】資源や環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できる。【学びに向かう力、人間性等】情報リテラシーを身につける大切さを理解する。	1. 情報化と消費生活の関係性を理解させ、消費者の権利を知らせること 2. 契約と消費者信用について理解させること 3. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】消費行動における意思決定の家庭とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自分が一消費者であることをじあつくし、消費行動や環境とのかかりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	12
	第10章 経済的に自立する 【知識及び技能】家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。【思考力・判断力・表現力】将来の生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。【学びに向かう力、人間性等】家庭経済を国民経済、国際経済の関係性に気づく。	1. 収入と支出の管理について理解させ、貯蓄と家計管理を実践できる力を養わせること 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期の経済計画に関わる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 【思考力・判断力・表現力等】現在の経済社会と家計との官営を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の経済的自立を考えながら、長期・短期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
合計							
140							

